

- 問1 日本の衆議院議員総選挙で行われる投票の手順において、小選挙区選挙と比例代表選挙の記入方法の違いを説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. どちらの選挙においても、あらかじめ印刷された候補者や政党のリストから選んで丸をつける | 2. 小選挙区では候補者の個人名を記入し、比例代表では政党の名称を記入する | 3. どちらの選挙においても、候補者の個人名または政党名のいずれを記入してもよい | 4. 小選挙区では政党の名称を記入し、比例代表では候補者の個人名を記入する |
|---|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問2 日本の衆議院議員選挙では、小選挙区制と比例代表制を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が導入されています。小選挙区制だけでなく比例代表制をあわせて実施している理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 候補者個人の地知名度や人気に左右されず、政党の政策のみで全ての議席を決定するため。 | 2. 小選挙区制で発生しやすい多くの死票を補い、政党の得票率を議席数に反映させやすくするため。 | 3. 二大政党制を確立させ、特定の有力な政党が常に安定して政権を維持できるようにするため。 | 4. 1つの選挙区から複数の代表を選ぶことで、選挙管理にかかる事務的な負担や費用を減らすため。 |
|--|---|---|---|
- 問3 1970年代から近年までの選挙における投票率の動向と、若者の政治参加について述べた文として正しいものはどれですか。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 1970年から現在に至るまで、20歳代の投票率は一貫して上昇し続けており、全体の数値を押し上げている。 | 2. 統計上、20歳代の投票率は全体の投票率とほぼ同じ数値で推移しており、世代間の差は存在しない。 | 3. 若者の政治参加を促すため、現在は20歳代の投票権のみが制限され、特別な訓練を受ける制度となっている。 | 4. 20歳代の投票率は常に全体の投票率を大きく下回っており、若者の意見が政治に届きにくい状況にある。 |
|--|---|---|---|
- 問4 2017年3月12日に行われた選挙において、父(57歳)、母(55歳)、長男(31歳)、長女(26歳)、次男(19歳)、次女の舞(15歳)という家族構成であった場合、この家族の中で選挙権を有している人の組み合わせとして適切なものはどれですか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|-----------------|-------------------|--------|
| 1. 父・母・長男・長女 | 2. 父・母・長男・長女・次男 | 3. 父・母・長男・長女・次男・舞 | 4. 父・母 |
|--------------|-----------------|-------------------|--------|
- 問5 選挙の際、政党が政権を担当したときに実施する予定の政策について、具体的な数値目標や期限、財源などを国民に対して約束したものを何といいますか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------------|
| 1. 閣議決定 | 2. 地方自治法 | 3. 施政方針演説 | 4. 政権公約（マニフェスト） |
|---------|----------|-----------|-----------------|
- 問6 一票の格差を是正するために、人口の増減に応じて各選挙区に割り当てる議員の数を調整したり、選挙区の境界線を引き直したりする措置を何といいますか。 (2014年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 直接請求権 | 2. 代表民主制 | 3. 小選挙区制 | 4. 定数は正 |
|----------|----------|----------|---------|
- 問7 衆議院議員総選挙の投票所では、有権者が複数の投票用紙を受け取り、異なる投票箱へ投函します。この選挙において、候補者個人名を記入して1つの選挙区から1名の代表者を選ぶ方式と、政党名を記入して政党の得票数に応じて議席を割り当てる方式、および司法への国民参加として行われる手続きを組み合わせた説明として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 小選挙区に候補者名を、比例代表に政党名を書き、最高裁判所裁判官の国民審査を同時に行う。 | 2. 小選挙区に候補者名を、比例代表に政党名を書き、内閣総理大臣の指名選挙を同時に行う。 | 3. 比例代表に候補者名を、小選挙区に政党名を書き、最高裁判所裁判官の国民審査を同時に行う。 | 4. 大選挙区に候補者名を、比例代表に政党名を書き、参議院議員の国民審査を同時に行う。 |
|--|--|--|---|
- 問8 現代の選挙制度において、「一票の格差」が問題視されることがあります。この問題はどのような原則に反する懸念があるために修正が求められているか、最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. すべての有権者が公平に一人一票の価値をもつという平等選挙の原則 | 2. 有権者が代表者を間に挟まず直接選出するという直接選挙の原則 | 3. 誰に投票したかを他人に知られないように保護するという秘密選挙の原則 | 4. 一定の年齢に達したすべての国民に投票権を与えるという普通選挙の原則 |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
- 問9 平等選挙の原則に関連して、現代の日本で解決すべき課題となっている「一票の格差」の内容を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|-------------------------------------|
| 1. 支持する政党がない有権者が、投票を棄権することで生じる投票率の差のこと | 2. 選挙区ごとの議員一人あたりの有権者数に差があり、一票が持つ影響力に不平等が生じること | 3. 選挙管理委員会が投票結果を集計する際、無効票の扱いが自治体によって異なること | 4. 有権者の性別や職業によって、投票できる場所や時間が制限されること |
|--|---|---|-------------------------------------|
- 問10 選挙当日に仕事や旅行などの予定がある有権者が、投票日より前に投票を行えるように設けられた制度で、従来の不在者投票よりも手続きが簡略化された仕組みを何といいますか。 (2025年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 1. 電子投票制度 | 2. 在外投票制度 | 3. 期日前投票制度 | 4. 直接投票制度 |
|-----------|-----------|------------|-----------|
- 問11 現代の民主政治において、社会的な問題に対して多くの人々によって共有されている意見や意識を何というか。また、それらが政治に与える影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2025年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 直接請求と呼ばれ、一定数の有権者の署名を集めることで、条例の制定や改廃を直接首長に求めることができる。 | 2. 請願と呼ばれ、国や地方公共団体の機関に対して、公的な要望を文書で提出する権利として保障されている。 | 3. 政策と呼ばれ、世論調査の結果にかかわらず、議会において多数決で決定された具体的な施策のことである。 | 4. 世論と呼ばれ、マスメディアの報道などを通じて形成され、政府の政策決定に大きな影響を与える。 |
|--|--|--|--|
- 問12 公職選挙法の改正にともない、候補者がSNSやウェブサイトなどのインターネットを活用して行うことができるようになった活動を何といいますか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------|---------|----------------|
| 1. 在外投票 | 2. 期日前投票 | 3. 電子投票 | 4. インターネット選挙運動 |
|---------|----------|---------|----------------|
- 問13 「民主政治と私たち」というテーマで、若者の政治参加について学習した内容において、現在の日本の選挙制度における「満十八歳の日本国民」の権利の状況を正しく説明しているものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 衆議院議員選挙には立候補できるが、参議院議員選挙には立候補することができない | 2. 国政選挙において投票する権利は認められているが、都道府県知事や市町村長の選挙で投票することはできない | 3. 国政選挙や地方選挙において投票する権利はあるが、自らが候補者として立候補する権利は認められていない | 4. すべての選挙において投票する権利と、地方議会議員に立候補する権利の両方が認められている |
|---|---|--|--|